

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援給付事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	子育て給付課	事業名	児童給付システム事業		
事業概要						
児童給付システム管理						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
児童手当・児童扶養手当・子ども医療費助成・ひとり親家庭医療費助成システムに係る保守及び改修業務を委託し、システムの円滑な運用を行った。		決算額 (千円)	8, 549	3, 894	4, 660	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	74.1	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		特になし				今後の実施計画 の方向性・内容
						継続
						定期的なシステムの保守業務を実施し、システムの安定的な稼働を維持し、制度改正等がある場合、迅速かつ適切にシステム改修を行う必要がある。

2	所管 室課	子育て給付課	事業名	児童手当給付事業		
事業概要						
児童手当給付						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
児童手当法に基づき、15歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育する者に手当を支給した。 （所得制限あり） 中学校修了前 15,000円又は10,000円 所得制限超過者 5,000円 所得上限超過者 0円 令和3年度 受給対象延べ児童数…606,490人 支給額…6,069,085千円 令和4年度 受給対象延べ児童数…560,047人 支給額…5,774,370千円 令和5年度 受給対象延べ児童数…530,277人 支給額…5,536,505千円		決算額 （千円）	6,069,346	5,774,646	5,536,692	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（%）	15.1	14.8	15.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		特になし。				
		継続				
				事業全体が法定受託事 務であり、今後も引き 続き事業を実施する必 要がある。		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援給付事業	所管部局	児童部

3	所管 室課	子育て給付課	事業名	子ども医療費助成事業			
事業概要							
子ども医療費助成							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童に係る医療費の自己負担額の一部を助成した。 令和3年度 対象延べ児童数…736,577人 助成額…1,542,418千円 令和4年度 対象延べ児童数…737,390人 助成額…1,698,766千円 令和5年度 対象延べ児童数…732,140人 助成額…1,993,518千円			決算額 (千円)	1,590,631	1,752,003	2,052,970	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	89.3	90.2	91.2	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			医療費助成額については増加傾向にあるが、市民ニーズが非常に高い事業であり、保護者の経済的負担を軽減するとともに子どもの保健の向上に寄与し、その健全な成長を図るため継続して実施する必要がある。				
				継続			

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
子育て給付課	就学前児童子育て世帯支援金事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	子育て政策室	事業名	こども笑顔輝き基金積立事業		
事業概要						
こども笑顔輝き基金積立						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
子育て支援及び青少年育成の推進のために個人や法人、団体等から受けた寄附金をこども笑顔輝き基金に積立している。また、子育て支援及び青少年育成の推進に資する事業を実施する際は、必要に応じて基金から特定財源として取り崩し、事業実施財源に充てている。 (1) 積立 令和3年度…100,000円、令和4年度…10,354,505円、令和5年度…32,502,570円 (2) 繰入 令和3年度～令和5年度…実績なし (3) 基金残高 令和3年度末…243,191,345円、令和4年度末…253,545,850円、令和5年度末…286,048,420円		決算額 (千円)	100	10,355	32,503	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	0.0	99.6	1.1	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ■ 持続可能性	
		・子育て施策に広く充てることができる 基金であることから、計画的に運用して いく必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
		継続				
		引き続き、こども笑顔輝き基金積立に係る事業運営を円滑に進めていく。				

2	所管課	子育て政策室	事業名	子ども・子育て支援推進事業			
事業概要							
子ども・子育て支援審議会、子育て支援情報発信、保育幼稚園室業務改善							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
【子育て支援員研修の実施による拡充】 (1) 子ども・子育て支援審議会 令和5年度は6回開催し、子ども・子育て支援に関する施策について審議し、第3期子ども・子育て支援事業計画策定の基礎資料となるニーズ調査を実施した。 (2) 子育て支援情報推進事業 子育て応援サイト「すくすく」による子育てに関する情報提供や当該サイトの維持・管理を行った。 ・子育て応援サイト「すくすく」アクセス件数 令和3年度…334,047件、令和4年度…449,583件、令和5年度…548,283件 (3) 保育幼稚園室の業務改善 令和4年度から5年度にかけて外部委託を行い、保育幼稚園室の業務プロセスの可視化及び業務の体系化を実施し、業務改善方針を策定した。 (4) 子育て支援員研修の実施 児童福祉法に基づき実施する一時預かり事業の従事者を確保するため研修を行った。 ・修了証書交付者数 令和5年度…59人			決算額 (千円)	8,613	17,906	17,114	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.9	100.0	94.8	■ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			・当該サイトへのアクセス件数は年々増加しているが、より多くの市民に活用してもらえよう内容を見直す必要がある。 ・子育て支援施策に関連する項目の意見聴取等、施策推進にあたり有効的かつ効率的に審議会を開催する。 ・保育幼稚園室の業務改善にあたっては、策定した業務改善方針に沿って、取組を着実に実施していく必要がある。 ・子育て支援員研修については、今後の一時預かり事業への展開にどれだけ資するか検証していく必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続 各取組を進め、子育て支援施策の一層の推進を図る。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

3	所管 室課	子育て政策室	事業名	子育て広場助成事業		
事業概要						
子育て広場助成						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
子ども・子育て支援交付金交付要綱に基づき、子育ての負担感を軽減するため、子育ての喜びや楽しみを共有できる「子育て広場」を設け、子育て支援に係る事業を行う団体に対し、補助金を交付した。 (1) 子育て広場事業補助金交付団体数 令和3年度…8団体、令和4年度…8団体、令和5年度…8団体 (2) 子育て広場延べ利用者数 令和3年度…19,939人 令和4年度…20,524人、令和5年度…23,150人		決算額 (千円)	37,418	39,741	37,633	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	33.3	34.2	33.3	■ 有効性 □ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			□ 公平性 ■ 持続可能性	
		包括的な相談支援等を実施する重層的支援体制との連携・整合性を図りながら再構築した制度内容で、令和6年度に運営団体を公募しているところである。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続
						利用ニーズに沿った事業運営を図るため、再構築後も制度の実施状況を分析・評価していく。

4	所管 室課	子育て政策室	事業名	私立保育所等一時預かり助成事業		
事業概要						
私立保育所等一時預かり助成						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
（１）私立保育所等一時預かり助成事業 家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、一時預かりを実施した私立の認定こども園、保育所及び小規模保育事業所に対し、子ども・子育て支援交付金交付要綱に基づいて、助成金を交付した。 ・一時預かり事業助成金交付件数 令和３年度…８件、令和４年度…８件、令和５年度…１１件 ・一時預かり事業延べ利用児童数 令和３年度…１,９３４人、令和４年度…２,７４４人、令和５年度…３,３８８人 【一時預かり助成事業における助成の拡充】 （２）私立保育所等一時預かり助成事業（開設準備経費） 新たに一時預かり事業を開始する事業者に対し、開設準備に係る経費を私立保育所等に対し助成金を交付した。 ・交付件数（助成金総額）…２件（７,４０２,７６０円）		決算額 （千円）	23, 101	24, 712	31, 543	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（％）	33. 3	33. 2	17. 4	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
		・保護者の負担軽減に繋がる本事業の ニーズは高い。 ・提供量を確保するため、助成対象者を 拡大し、新たに開設する事業者に対する 開設準備経費の助成を始めた。 ・本体施設の人員体制により休止を余儀 なくされることがあり、事業実施が不安 定になりやすいことが課題である。				
					継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード		412	施策		地域の子育て支援の充実			
管理事業			子育て支援事業		所管部局		児童部	
5	所管室課	子育て政策室		事業名	私立保育所等地域子育て支援センター事業			
事業概要								
私立保育所等地域子育て支援センター運営、新型コロナウイルス感染症対策支援								
活動実績				年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
【地域子育て支援の実施施設数増による拡充】 育児教室や子育てサークル支援などを行い、保育所等を拠点に地域の子育て支援を実施した私立保育所等に対して、補助金を交付した。 (1) 地域子育て支援補助金交付団体数 令和3年度…21団体 令和4年度…22団体、令和5年度…23団体 (2) 育児教室実参加組数 令和3年度…609組 令和4年度…1,239組、令和5年度…1,243組 (3) サークル延べ利用者数 令和3年度…529人 令和4年度…1,678人、令和5年度…2,907人 (4) 地域子育て支援拠点事業（委託）団体数 令和3年度…4団体、令和4年度…4団体 令和5年度…4団体 (5) 地域子育て支援拠点事業（委託）利用者数 令和3年度…3,962人 令和4年度…7,568人、令和5年度…11,828人				決算額 (千円)	50,161	50,256	56,717	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)	66.2	70.7	69.9	■ 有効性 ☐ 効率性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				■ 公平性 ☐ 持続可能性
				より効果的な支援を推進するためには、必要な設置数や実施する機関の連携等、支援体制の構築に係る一定の考え方を整理していく必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
								継続
								こども計画の策定にあたり、市としての方向性を整理していく。

6	所管 室課	子育て政策室	事業名	児童会館一時預かり事業			
事業概要							
児童会館一時預かり							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 豊一児童センター一時預かり事業 保護者のリフレッシュ等で一時的に保育が必要となった児童を、児童会館で一時的に預かり、必要な保育を行う。市内在住の1・2歳児が対象。月曜日～金曜日の午前9時30分～午後1時に開室。 (祝日、小学校長期休業中(春・夏・冬休み)、5月3～5日除く。)定員6名。利用料1回1,100円。 (2) 延べ利用児童数 令和3年度…477人、令和4年度…861人、令和5年度…991人 (3) 開室日数 令和3年度…141日、令和4年度…203日、令和5年度…203日 ※令和元年度末から令和4年度において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休室及び一部開室(利用定員を制限しての開室)を実施。 (4) 稼働率(定員充足率) 令和3年度…84.6%、令和4年度…88.5%、令和5年度…81.4% ※1日あたり定員 【令和3年度利用制限】 令和3年4月、6月、7月…4名、令和3年10月～令和4年3月…4名、令和3年5月、8月、9月…休室 【令和4年度利用制限】 令和4年4月～6月…4人、令和4年7月～令和5年3月2日…5人、令和5年3月3日以降…6人(利用制限無)			決算額 (千円)	3,725	4,106	4,318	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	25.9	30.2	24.3	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			・事業開始当初より高い稼働率(定員充足率)を維持しており、育児負担軽減や児童虐待の予防に重要な役割を果たしている。 ・一時預かり事業の需要は高く、各地域で事業を広めていくために、今後も児童館併設の一時預かりを検討していく必要がある。			拡充	
						市民ニーズに見合う提供量の確保に努める。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

7	所管 室課	のびのび子育てプラザ	事業名	のびのび子育てプラザ一時預かり事業			
事業概要							
のびのび子育てプラザ一時預かり							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
1) 延べ利用者数 【おひさまルームでの一時預かり事業実施による拡充】 令和3年度・・・887人、令和4年度・・・1,706人、令和5年度・・・2,254人 (2) 保育定員充足率 令和3年度・・・78.2%、令和4年度・・・87.0%、令和5年度・・・88.5% 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和5年度も引き続き受け入れ児童数を制限していたが、年度途中で受け入れ児童数を見直したことにより、令和5年度は延べ利用者数が前年度から増加した。			決算額 (千円)	13,533	15,272	16,898	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	63.2	55.0	25.5	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			市民ニーズに対応するため、令和5年10月から佐竹台地域交流室において一時預かりを開始した。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
						引き続き、市民ニーズ に対応できるよう、事 業を実施していく。	

8	所管 室課	のびのび子育てプラザ	事業名	のびのび子育てプラザ管理事業			
事業概要							
のびのび子育てプラザ管理							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 一般来館者数 令和3年度・・・30,694人、令和4年度・・・39,699人、令和5年度・・・41,317人 (2) 専用使用利用者数 令和3年度・・・109人、令和4年度・・・329人、令和5年度・・・505人 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館時間の制限を実施したが、常時開館ができたため、延べ利用者数が前年度から増加した。 育児サークルや子育て支援団体が利用する専用使用利用者数は、サークル活動が再開される傾向にあり、前年度から増加した。			決算額 (千円)	13,489	16,681	16,241	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	98.9	99.6	99.5	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			市民が安全に利用できるよう、施設の経 年劣化に伴い改修等を行う。	☐ 公平性 ☐ 持続可能性
							今後の実施計画 の方向性・内容
						継続	
						引き続き、市民（親 子）が安心して利用で きるように運営してい く。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

9	所管 室課	のびのび子育てプラザ	事業名	のびのび子育てプラザ子育て支援事業			
事業概要							
のびのび子育てプラザ、ファミリー・サポート・センター							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 親子教室開催数 令和3年度・・・152回、令和4年度・・・284回、令和5年度・・・203回 2か月児から参加できる親子教室と近年支援の必要性が高まっている父親のための教室を実施した。市内各所に出張し、教室を開催した。 (2) ファミリー・サポート・センター活動件数 令和3年度・・・3,479件、令和4年度・・・3,732件、令和5年度・・・4,104件 (3) 多胎児支援補助金 ・補助利用数 令和3年度・・・484枚、令和4年度・・・431枚、令和5年度・・・535枚 令和2年度から、生後3か月から3歳未満までの多胎児を養育している依頼会員を対象に、年間50枚を上限に、1枚当たり700円の補助を実施している。			決算額 (千円)	33,843	35,045	37,024	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	63.8	31.3	37.5	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ■ 持続可能性	
			援助会員が不足している地域があったり、全体的に高齢化が見られる等、援助会員の確保が課題となっている。援助会員として活動するために必要な必須講座を連続して受講できるように実施し、できるだけ早期に活動が可能となるように努めた。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
						引き続き、ファミリー・サポート・センターの事業運営を円滑に行う。 令和7年度開始予定の重層的支援体制整備事業対象事業	

10	所管 室課	のびのび子育てプラザ	事業名	子育て支援コンシェルジュ事業			
事業概要							
子育て支援コンシェルジュ							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 電話相談件数 令和3年度・・・582件、令和4年度・・・632件、令和5年度・・・509件 (2) 来館相談件数 令和3年度・・・534件、令和4年度・・・561件、令和5年度・・・494件 (3) 出張相談件数 令和3年度・・・17件、令和4年度・・・67件、令和5年度・・・61件 (4) メール相談件数 令和3年度・・・69件、令和4年度・・・86件、令和5年度・・・32件 (5) オンライン相談件数 令和5年度・・・6件 平成28年度から始まり、8年目を迎えた子育て支援コンシェルジュ事業は、市民にも周知が進み、年間約1,100件の相談が寄せられている。令和5年度は、オンライン相談を開始しており、市民ニーズは高い。			決算額 (千円)	1,703	1,750	1,792	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			アクセスの悪いところにいる人、制度のはざまにいる人、自分から相談事を発信できない人への対応が課題となっている。出張相談やICTを活用し、のびのび子育てプラザから離れた地域でも、身近に相談を受けられるように努めた。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	
			引き続き、市民に寄り添った事業運営に努めていく。 令和7年度開始予定の重層的支援体制整備事業対象事業				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

11	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	休日保育事業		
事業概要						
休日保育						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
保護者の就労等により日曜、祝日等に保育を必要とする児童を保育するため、こども発達支援センターにおいて、休日保育を実施した。 ・延べ利用児童数 令和3年度・・・341人 令和4年度・・・300人 令和5年度・・・443人		決算額 (千円)	631	1,032	2,053	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	33.7	59.1	43.3	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		H26年度まで委託していた私立保育所が 事業撤退し、以降、公立1か所で事業を 行っている。保護者の就労形態の多様化 の影響もあり、吹田市子ども・子育て支 援事業計画ニーズ調査結果でも、高い ニーズがある。				継続

12	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	公立保育所一時預かり事業			
事業概要							
公立保育所一時預かり							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
【一時預かりの実施施設の追加及び既存施設の定員増による拡充】 家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を保育所で一時的に預かり、必要な保育を行った。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少していたが、令和4年度以降については新型コロナウイルス感染症前の状況に戻りつつある。 令和5年4月から南千里保育園の定員を6名から8名に拡充し、同年10月からことばき保育園で新たに実施した。 ・延べ利用児童数（公立幼保連携型認定こども園含む） 令和3年度・・・1,875人 令和4年度・・・3,218人 令和5年度・・・4,867人			決算額 (千円)	18,913	20,473	24,439	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	58.9	48.0	25.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			市民ニーズは高く、子育て支援として必要 な事業である。	今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

5	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	公立保育所地域子育て支援センター事業			
事業概要							
公立保育所地域子育て支援センター運営							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
主に遠くに出歩くことが困難な乳幼児を持つ保護者に対し、公立保育所において育児教室や育児相談を実施したり、仲間づくりに携わる事業を実施した。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少していたが、令和4年度以降については新型コロナウイルス感染症前の状況に戻りつつある。 ・年間延べ利用者数 令和3年度・・・4,149人 令和4年度・・・14,538人 令和5年度・・・23,211人			決算額 (千円)	660	665	637	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			オンラインでの子育て支援事業を実施し、対面や来園しての参加が難しい家庭への参加の機会を設けている。				
							継続

6	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	公立幼稚園教育支援事業			
事業概要							
公立幼稚園教育支援							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
公立幼稚園において、園庭開放や未就園児の行事参加等の子育て支援活動を行うことで、子育ての不安を解消する等地域全体での子育てについての教育力向上を図った。 令和4年度以降は保険加入を前提とした行事を行わなかったため、支出は生じなかった。			決算額 (千円)	129	0	0	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	-	-	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			特になし				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

7	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	公立幼稚園幼稚園型一時預かり事業			
事業概要							
公立幼稚園幼稚園型一時預かり							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
教育時間の終了後から午後5時まで、希望者を対象として園児を預かる一時預かり事業を実施した。令和4年度は対象となる1号認定児の人数が減少したため、延べ利用児童数は減少したが、依然として高いニーズがある。 ・延べ利用児童数（公立幼保連携型認定こども園含む） 令和3年度・・・14,481人 令和4年度・・・13,588人 令和5年度・・・14,171人			決算額 （千円）	23,764	17,370	14,174	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	24.3	23.7	18.5	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			市民ニーズは高く、子育て支援として必要 な事業である。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

8	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	公立幼保連携型認定こども園一時預かり事業				
事業概要								
公立幼保連携型認定こども園一時預かり								
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を保育所で一時的に預かり、必要な保育を行った。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少していたが、令和4年度以降については新型コロナウイルス感染症前の状況に戻りつつある。 ・延べ利用児童数（公立保育所含む） 令和3年度・・・1,875人 令和4年度・・・3,218人 令和5年度・・・4,867人			決算額 (千円)	4,055	5,898	7,710	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	16.6	25.6	31.4	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			市民ニーズは高く、子育て支援として必要 な事業である。				今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

9	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	公立幼保連携型認定こども園地域子育て支援センター事業				
事業概要								
公立幼保連携型認定こども園地域子育て支援センター運営								
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
主に遠くに出歩くことが困難な乳幼児を持つ保護者に対し、公立幼保連携型認定こども園において育児教室や育児相談を実施したり、仲間づくりに携わる事業を実施した。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少していたが、令和4年度以降については新型コロナウイルス感染症前の状況に戻りつつある。 ・年間延べ利用者数 令和3年度・・・509人 令和4年度・・・4,620人 令和5年度・・・9,151人			決算額 (千円)	56	154	139	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			オンラインでの子育て支援事業を実施し、対面や来園しての参加が難しい家庭への参加の機会を設けている。				今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

10	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	公立幼保連携型認定こども園幼稚園型一時預かり事業				
事業概要								
公立幼保連携型認定こども園幼稚園型一時預かり								
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
教育時間の終了後から午後5時まで、希望者を対象として園児を預かる一時預かり事業を実施した。令和4年度は対象となる1号認定児の人数が減少したため、延べ利用児童数は減少したが、依然として高いニーズがある。 ・延べ利用児童数（公立幼稚園含む） 令和3年度・・・14,481人 令和4年度・・・13,588人 令和5年度・・・14,171人			決算額 (千円)	1,555	1,497	5,266	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	10.4	4.0	22.6	☐ 有効性 ☐ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			市民ニーズは高く、子育て支援として必要 な事業である。				今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	特定教育・保育施設等幼稚園型一時預かり助成事業			
事業概要							
特定教育・保育施設等幼稚園型一時預かり助成							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園及び認定こども園のうち、主に自園の児童に対して、基本教育時間を超えて預かり保育を実施する園に助成金を交付する事業。 令和3年度・・・7施設 令和4年度・・・12施設 令和5年度・・・10施設			決算額 (千円)	10,639	19,480	22,304	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	38.0	33.3	33.3	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			国の地域子ども・子育て支援事業に沿って、私立幼稚園及び認定こども園の幼稚園型一時預かり事業の実施に対して補助しており、安定した体制確保により子育て支援の充実に寄与している。今後も預かり保育に対する市民ニーズの高さに対応するため、実施施設や実施時間の拡大を目指していく必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

2	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	特定型子育て支援コンシェルジュ事業			
事業概要							
特定型子育て支援コンシェルジュ							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
各家庭のニーズに合った教育・保育に関する施設利用や事業の円滑な利用を促す。保育需要の高まりを受けて、利用者数は年々増加していたが、令和5年度から保育所等入所申込にあたっては電子申請を導入し申込者への利便性の向上を図ったことから、来室者が減少した。 ・年間延べ利用者数 令和3年度・・・3,958人 令和4年度・・・4,632人 令和5年度・・・3,653人			決算額 (千円)	2,915	3,214	3,310	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	12.1	20.2	20.7	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ■ 持続可能性
			保護者が求めるきめ細かな情報提供を継続するために、相談専門員の知識向上が必要であるが、子ども・子育て支援制度の複雑化に伴い、情報量が膨大になってきているため、相談専門員の育成に時間が掛かっている。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	子育て支援事業	所管部局	児童部

11	所管 室課	保育幼稚園室	事業名	病児・病後児保育事業			
事業概要							
病児・病後児保育							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
【病児・病後児保育の年限延長による拡充】 保護者が就労等で病気の児童や病気回復期の児童を一時的に保育できない場合の受入れを行った。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少していたが、令和4年度以降については新型コロナウイルス感染症前の状況に戻りつつある。 令和5年10月から、市内6か所全てで、利用できる学年の上限を小学1年生から小学3年生に延長した。 ・延べ利用児童数 令和3年度・・・1,835人 令和4年度・・・2,398人 令和5年度・・・3,616人			決算額 (千円)	132,766	132,972	147,719	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	72.7	70.6	67.5	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			市民ニーズは高く、子育て支援として必要 な事業である。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

1	所管 室課	こども発達支援センター	事業名	障害児通所サービス事業者支援事業		
事業概要						
障害児通所サービス事業者支援						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
障害児通所支援事業所に対し物価高騰対策応援金を交付 計84事業所 障がい児通所支援事業所における安全安心対策事業費補助金を交付 計52事業所		決算額 (千円)	6,369	10,718	28,704	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	96.6	93.3	0.5	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		急激な物価高騰により、事業所運営に苦慮している状況をふまえると、今後も継続的な支援が必要となる可能性がある。障害児が地域で安心して過ごせるよう、通所の給付費や現行の補助金で賄えない負担について、国の動向もふまえながら支援の方法について検討する必要がある。				
						縮小
				物価高騰の状況や国の動向をふまえ、慎重に判断する必要がある。		

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	児童会館事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	子育て政策室	事業名	高城児童会館整備事業		
事業概要						
高城児童会館整備						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
現在の高城児童会館は、昭和37年度（1962年度）に建設され、建物の老朽化が激しく広場機能が無いことから、今回、市営日の出住宅跡地への移転建替え工事を実施し、施設定員の拡充及び広場を備えた日の出町児童センターとして整備を行う。 令和5年度においては、実施設計業務を完了するとともに、建設工事に着手した。		決算額 (千円)	0	264	23,538	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	0.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
		・単に現在の児童館機能を移転するだけでなく、18歳までの受入やそれに伴う開館時間の延長、また一時預かり事業の実施など、多様なニーズを持った子供の居場所として機能する施設を念頭に整備していく。				
						継続
						令和6年度の工事完了、令和7年度の施設供用開始に向けて、事業を円滑に行えるよう検討を進める。

2	所管 室課	子育て政策室	事業名	児童会館管理事業			
事業概要							
児童会館管理、新型コロナウイルス感染症対策支援							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
児童会館・児童センター（12施設）の施設維持管理の実施。指定管理者制度導入施設（2施設）については、原則、一定額を超える修繕のみ対象。 （1）ウォータークーラー更新整備 令和4年度：寿町児童センター 令和5年度：南吹田児童センター （2）放送設備更新整備 平成29年度：五月が丘児童センター、竹見台児童センター 平成30年度：寿町児童センター 令和元年度：高城児童会館、南吹田児童センター、 原町児童センター 令和4年度：豊一児童センター 令和5年度：山田西児童センター （3）階段昇降機更新整備 平成28年度：竹見台児童センター 平成30年度：南吹田児童センター 令和元年度：原町児童センター 令和3年度：豊一児童センター 令和5年度：千里丘児童会館			決算額 (千円)	121,824	114,557	108,333	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	92.1	98.7	99.8	□ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				□ 公平性 ■ 持続可能性
			・児童会館12施設のうち10施設が開館から25年以上経過しており、老朽化に伴う建具等の修繕が必要となっている。施設の維持補修や備品の更新を計画的に実施し、長期的な視点での経費の削減を継続して図っていく必要がある。 ・児童会館の機能強化に向け、多様なニーズを持った子供の居場所として機能する施設になるよう更新していく。 ・館長の成り手不足や機能強化に伴う管理業務の増大を考慮し、館長の任用形態を検討する必要がある。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続
							引続き、児童会館の事業運営を円滑に行えるよう管理体制を整えていく。

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード 412		施策 地域の子育て支援の充実				
管理事業 児童会館事業		所管部局 児童部				
3	所管室課	子育て政策室	事業名	児童会館運営事業		
事業概要						
児童会館運営						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
(1) 児童会館利用者数 令和3年度…123,682人、令和4年度…198,806人 令和5年度…325,319人 (2) 使用証交付者数 令和3年度…5,232人、令和4年度…8,071人 令和5年度…16,942人 (3) 幼児教室利用者数 令和3年度…5,050人、令和4年度…8,713人 令和5年度…10,333人		決算額 (千円)	243,592	257,318	270,917	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	99.6	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
		・児童会館は、地域における児童の安全な遊び場や居場所であり、児童の健全育成を支える児童厚生員の配置が求められる。 ・子供を取り巻く社会環境の変化に対応できるよう、児童館の機能・役割を再検討する。 ・児童館の機能強化に伴い、多様なニーズや年齢層に対応できる人材の育成が必要となる。 ・児童会館の管理運営に関しては、指定管理者制度の導入を含め、より効果的・効率的な手法について検討が必要である。				拡充 機能強化に向け、児童会館の事業運営を円滑に行えるよう、職員のスキルアップを含め、運営体制を整えていく。

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	保健推進事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	千里ニュータウンプラザ管理事業（保健センター）		
事業概要						
千里ニュータウンプラザ施設管理						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
千里ニュータウンプラザ内の保健センター南千里分館及び口腔ケアセンターの維持管理事業として、建物維持管理等の費用や光熱水費の予算執行を行った。 ・千里ニュータウンプラザに係るサービス購入料（設計・建設） 令和3年度…32,886,518円 令和4年度…31,311,362円 令和5年度…30,889,392円 ・千里ニュータウンプラザに係るサービス購入料（維持管理・修繕） 令和3年度…16,178,820円 令和4年度…16,342,996円 令和5年度…17,253,606円		決算額 （千円）	57,201	51,706	51,809	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率（%）	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		特になし			今後の実施計画 の方向性・内容	
					継続	

2	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	保健センター総務事業			
事業概要							
保健センター総務							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
保健センター南千里分館における各種事業を円滑に実施できるよう、電話料金やコピー機賃借料、駐輪代、管理医師報酬の予算執行など当館の内部管理に関する業務を実施した。			決算額 (千円)	2,413	2,332	2,372	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			特になし				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	保健推進事業	所管部局	児童部

3	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	保健推進事業			
事業概要							
健康教育・相談、口腔ケアセンター運営 ※ 組織改正により、令和4年度から成人保健課、すこやか親子室(母子保健課)の2室課において実施。							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
赤ちゃんの歯の広場事業 吹田市口腔ケアセンターで、生後4か月から12か月までの乳児とその保護者を対象に、乳歯の相談や口腔ケア等の指導を実施した。 実施回数及び受講者数 ・令和3年度…17回/174人、令和4年度…24回/228人、令和5年度…24回/268人 ※ 3年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため一部中止。			決算額 (千円)	8,578	1,323	1,362	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	98.3	100.0	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			特になし			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

4	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	健康情報管理システム事業			
事業概要							
健康情報管理システム等管理 ※ 組織改正により、令和4年度から成人保健課、すこやか親子室（旧母子保健課）、地域保健課の3室課において実施。							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
母子保健を管理する「健康情報管理システム」の開発・更新・保守を実施した。			決算額 (千円)	26, 301	8, 096	4, 928	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	84.8	60.9	100.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			特になし			今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	母子保健事業	所管部局	児童部

1	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	育児支援事業				
事業概要								
離乳食講習会								
活動実績				年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
離乳の進め方を学び、健康づくりの基礎となる望ましい食習慣を身につけてもらうことを目的に講習会を実施した。 実施回数及び受講者数 令和3年度…30回/693人、令和4年度…48回/940人、令和5年度…48回/1,022人 ※ごっくんコースは令和3年度5、6、8、9、2月、かみかみコースは令和3年度4、5、8、9、2月は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止。離乳食前期のごっくんコースは令和4年度以降オンラインと会場の同時開催のハイブリット式で実施。				決算額 (千円)	512	942	1,400	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
				一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性
				事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
				・物価高騰による材料費の増加。 ・ごっくんコースの受講者のうち、オンライン受講者は4割を占めていることから、後期のかみかみコースについてもオンライン実施を検討中。				今後の実施計画 の方向性・内容
								継続

2	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	小児慢性特定疾病児支援事業				
事業概要								
小児慢性特定疾病児支援								
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
（１）小児慢性特定疾病に係る医療費助成 小児慢性特定疾病にかかっている児童等の健全な育成と患者家庭の医療費の負担軽減を図るため、医療費の自己負担分の一部を公費によって助成した。 ・医療費給付延件数 令和３年度…6,695件、令和４年度…6,657件、令和５年度…7,327件 （２）小児慢性特定疾病児童等への相談支援 小児慢性特定疾病等の慢性疾病で長期療養をしている児童の自立や成長支援及び在宅療養の悩みや負担の軽減等を目的に、専門職が訪問等で情報提供や相談支援を行うとともに、関係機関との連絡調整を実施した。 ・保健師による訪問延件数 令和３年度…176件、令和４年度…187件、令和５年度…136件			決算額 (千円)	137,948	122,998	132,968	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率(%)	51.1	52.1	51.4	☐ 有効性 ■ 効率性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			小児慢性特定疾病児童等の相談支援において関係機関のみならず、庁内の関係室課と連携し切れ目ない支援を行っている。				今後の実施計画 の方向性・内容	
							継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	母子保健事業	所管部局	児童部

3	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	妊娠・出産包括支援事業			
事業概要							
妊婦（両親）教室、妊産婦相談支援、訪問指導、産前・産後サポート、産後ケア、産後家事支援、多胎児家庭支援、不育症検査及び治療費助成、新型コロナウイルス感染症対策支援、妊産婦サポートクーポン、出産・子育て応援、低所得の妊婦に対する初回産科受診料助成							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
【伴走型相談支援の充実による拡充】 【低所得の妊婦に対する初回産科受診料助成の実施による拡充】 （１）産後ケア 家族等から支援が得られない産婦を対象に、宿泊等で心身のケアや育児サポートを実施。 ・宿泊実人数 令和３年度…92人、令和４年度…148人、令和５年度…205人 ・デイ実人数 令和３年度…57人、令和４年度…98人、令和５年度…178人 （２）多胎児家庭サポート事業 生後１年未満の多胎児を養育する世帯に、家事・育児支援等を実施。 ・利用実人数 令和３年度…６人 令和４年度…12人、令和５年度…19人 （３）出産・子育て応援事業 妊娠届又は出生届を提出した方に面談を行い、それぞれの面談終了後に応援ギフトとして５万円を支給。 ・出産応援ギフト支給人数 令和４年度…4,097人、令和５年度…3,541人 ・子育て応援ギフト支給人数 令和４年度…2,250人、令和５年度…3,191人 （４）妊産婦サポートクーポン事業 妊婦を対象に１回の妊娠につき、20,000円分の電子クーポンを交付し、家事支援や助産師ケアの利用料を助成。 累計交付者数 令和４年度末…6,717人、令和５年度末…10,149人			決算額 （千円）	49,740	400,030	464,512	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（％）	55.7	35.8	25.7	☒ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				☐ 公平性 ☐ 持続可能性
			・多胎児家庭サポート事業に関する調査の結果、未利用者の理由として「利用期間が短い」「利用料の負担が大きい」等があったため、事業の見直しが必要。 ・母子保健型の利用者支援を含む地域住民の様々な支援ニーズに対応する包括的・重層的な支援体制の整備を図る。				今後の実施計画 の方向性・内容
							拡充 ・多胎児家庭の育児負担の軽減を図るため、多胎児家庭サポート事業の自己負担の軽減等の見直しを検討する。 ・事業の一部が令和7年度開始予定の重層的支援体制整備事業対象

4	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	母子健診事業				
事業概要								
1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診、4か月児健診、乳幼児精密健診、経過観察健診、歯科フォロー、6歳臼歯健康診査、子どもアレルギー予防、妊婦・産婦・乳児一般・乳児後期健診、妊婦・産婦歯科健診、新生児聴覚検査								
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
【多胎妊婦に対する健康診査助成の増額による拡充】 【発達相談支援体制の充実による拡充】 （1）乳幼児健診 身体計測、診察、発達・栄養・育児及び歯科に関する相談・保健指導等を実施し、疾病や障がいの早期発見・早期治療等につなぐとともに、育児の不安等の軽減を図った。 ・1歳6か月児健康診査受診率 ※（ ）内は歯科の受診 令和3年度…93.3％（85.8％）、令和4年度…99.7％（95.6％） 令和5年度…96.7％（90.2％） ・3歳児健康診査受診率 ※（ ）内は歯科の受診率 令和3年度…93.0％（79.4％）、令和4年度…93.9％（87.7％） 令和5年度…91.8％（82.1％） （2）妊産婦健診 母体・胎児の疾病の早期発見、産後うつ等の予防を図るために健診を実施し、医療機関と連携し支援が必要な妊産婦に保健師や助産師が訪問等で支援し、必要とされるサービスにつないだ。 〈妊婦健診延受診者数〉令和3年度…36,009人、令和4年度…37,208人、令和5年度…35,587人 〈産婦健診延受診者数〉令和3年度…5,186人、令和4年度…5,292人、令和5年度…5,215人			決算額 （千円）	499,668	511,263	500,852	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割	
			一般財源 の 比率（％）	96.7	95.7	96.7	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	
			・令和5年度からの課題であった乳幼児 健診予約申込のDXを推進するため、令和 6年度から予約システムの導入を行う。 ・乳幼児健康診査等により、疾病や障が いの早期発見・早期治療等につなぐこと が重要。				拡充	
							5歳児健診等の実施に ついて検討。	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	412	施策	地域の子育て支援の充実
管理事業	母子保健事業	所管部局	児童部

5	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	未熟児養育医療給付事業		
事業概要						
未熟児養育医療給付						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
未熟児に対する養育医療の給付を実施した。 ・医療費給付延件数 令和3年度…254件、令和4年度…225件、令和5年度…257件		決算額 (千円)	21,061	18,344	19,934	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)	25.1	38.8	25.2	☐ 有効性 ☐ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		特になし			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続

6	所管 室課	すこやか親子室（母子保健課）	事業名	未熟児養育医療自己負担納入金滞納整理事業			
事業概要							
未熟児養育医療自己負担納入金滞納整理							
活動実績			年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
未熟児養育医療自己負担金の滞納者に対して、電話催告、文書督促を実施した。 ・収入未済額（現年度） ※（ ）内は徴収率 令和3年度…4,500円（98.4%）、令和4年度…2,000円（99.1%）、令和5年度…0円（100%） ・収入未済額（滞納繰越分） ※（ ）内は徴収率 令和3年度…12,110円（0%）、令和4年度…4,000円（15.1%）、令和5年度…2,000円（66.7%）			決算額 （千円）	2	5	20	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率（%）	100.0	100.0	100.0	☐ 有効性 ■ 効率性 ■ 公平性 ☐ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
			文書督促後も一定期間支払いがない世帯 には、必ず電話催告を実施しており、今 後も引き続き高い徴収率の維持に向け、 早期対応に努めることが必要。				
				継続			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名